

十月十九日、二十日、三日、3年ぶりに開催された「世界津波の日」高校生サミットに本校から3名の生徒が参加しました。「復興を力に、経験と教訓を世界へ」雪国で育まれた助け合いの精神から学ぶ防災をテーマに世界30カ国・約250名の高校生が新潟に集い、地震津波などの災害から命を守るため、自分たちに何ができるのかを英語で発表・議論し共に学びました。日高高校は、【災害リスクの軽減】

「世界津波の日」2022高校生サミット 新潟と若き津波防災大使 スタディツアーに参加しました

のグループで、「災害関連死を減らすために」を題材とした発表を行いました。

サミット開催に先立ち十月十七日、一八日、「若き津波防災大使 スタディツアー」が行われ3名は「佐渡金山コース」に参加しました。全国各地から集まった高校生や留学生と交流しつつ、新潟市や佐渡の地域性に合わせた防災の取り組みや、地域の歴史を学びました。

スタディツアー 主な見学地

- 親松排水機場
- きらりうむ佐渡
- 佐渡金山
- 北沢浮遊選鉱場
- 新潟東港（防災訓練）

サミット 主なプログラム

- チーム・グループでのディスカッション プレゼンテーション
- スタディツアー報告
- レセプション
- 大会宣言
- 記念植樹・記念碑除幕式

【参加生徒】

- 二年六組 芝帆花
- 湯峯 叶子
- 一年三組 深尾 樹希哉

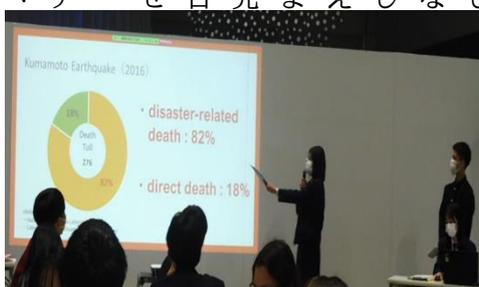
【参加した感想】

今回、私は、以前参加したアジアオセアニア高校生フォーラムで得たことを活かし、より防災に対する意識や英語力を向上させ、日本だけでなく世界の高校生たちと意見交換をしたいと思い、このサミットに参加することにしました。

スタディツアーでは、昔起こった災害や歴史を教訓にし、現在または将来にどう活かすのかについて学び

ました。特に、親松排水機場の視察訪問では、昔、亀田郷特有の地形が起す災害にどれだけの人たちが苦勞したのかを知り、こんなことが二度とないよう様々な工夫が施されていることを学びました。また、私たちは、バス移動中の司会を担当しました。各学校の紹介や和歌山県、防災に関するクイズをしました。みなさんに楽しんでもらえたと感じます。とても充実した二日間を過ごせました。

そして、サミットでは、日高高校は「災害リスクの軽減」を担当しました。発表は、臨機応変にうまくできたと思いますし、質疑応答でも即座に答えることができました。また、ディスカッションでは、同世代の高校生たちと防災に対する意識や意見を交換することができました。各々いろいろな考えがあり、興味深かった



です。みんなの英語力に圧倒されましたが、私も積極的にコミュニケーションをとることができたと思います。しかし、もっと英語を勉強して、よりスムーズに話し合いができるようになりたいと思いました。貴重な経験ができてよかったです。



ないこと、またその排水機場ができた歴史は非常に興味深く、このような機会があれば知る事ができないような貴重なお話だった。防災訓練では、船から支援物資が届く、という想定で、これもまた和歌山県や御坊市では経験できないような訓練だった。これらを通して、防災について知識を深められたと共に、自分たち高校生にも出来ることは様々あるのだと感じた。

ここで学んだことを周りの人たちに伝え共有し、また、災害が起こったとき、少しでも影響が出ないよう、私たちにできることは何かと考え率先して行動しようと思いました。

芝帆花

スタディツアー一日目の親松排水機場見学や、二日目の防災訓練に参加して、和歌山県では体験できないような「防災」を知ることができた。例えば、新潟県は土地が低く、大雨が降ると水が勝手に流れていかないため人工的に排水しなければいけ

ないこと、またその排水機場ができた歴史は非常に興味深く、このような機会があれば知る事ができないような貴重なお話だった。防災訓練では、船から支援物資が届く、という想定で、これもまた和歌山県や御坊市では経験できないような訓練だった。これらを通して、防災について知識を深められたと共に、自分たち高校生にも出来ることは様々あるのだと感じた。

バス内での司会では、時間や周りの様子を見ながら調整したりする、臨機応変さが身についた。みんな楽しんでくれて、振興局に景品を貰いに行ったりと準備を頑張った甲斐があったと思っ



サミットでは、プレゼン前のアイスブレイクで積極的コミュニケーションをとることができた。アジオセでは圧倒されて受け身になることが多かったが、今回は話を回したり、リアクションを大きめにしたり、アジ

オセでの失敗を活かしてより積極的に話すことができた。また、他校のプレゼンに質問することもできて、この点においてもアジオセよりも成長できたと感じた。自分たちのプレゼンでは、自分のパートはまあまあ上手くいったと思う。例えば、アイコンタクトや話すスピードに気を配りながら発表することができた。他にもこの津波サミットやその準備を通して、協力することの大切さ、そしてその大変さも学んだ。また、アジオセからの成長を感じ、自信につながることもあった。今後また機会があれば、これらの経験を活かして、プレゼン等においても、防災にようにしたいと思う。

湯峯 叶子

プレゼンのポスターを直前でなくしてしまいかなり悲しくなりましたが、プレゼンテーションは上手いだったので良かったです。

プレゼンのポスターを直前でなくしてしまいかなり悲しくなりましたが、プレゼンテーションは上手いだったので良かったです。

気づきは、和歌山の日高高校はちっちゃ



いといること。全国の高校生と交流して自分まで経験してきた世界はほんの少いで、世界はもっと広くて優しいのだと知りました。自分自身が成長した点は、たくさんの人と交流できたこと。気づきと同じですが、色々な地域の色々な国籍の人と話す事が初めてだったので、それを経験できたことが一番の成長です。様々な価値観や経験が個々にあり、それらを共有し知ることができました。これは津波サミットに行かなければ経験できなかったことです。本当に行ってよかったですと思います。



深尾 樹希哉

